

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-160
補助事業名 平成26年度 公設工業試験研究所等における機械等設備拡充補助事業
補助事業者名 東大阪市

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東大阪市立産業技術支援センターでは、評価・分析・加工機器の整備・充実に努めており、技術がますます高度化する中で稼働率や資金面においてこうした機器を保有することができない市域中小企業がこれらを利用することで、より効率的に生産や研究開発を進め、技術力強化や製品の高度化を支援してきました。

しかしながら、導入されている機器は老朽化し、特にパソコン等の制御機器およびその付随ソフトの進歩にともなって、メーカーにおいても後継機種に移行しているなど、現有機器は顧客のニーズを満足させることが困難になっています。また、利用者の評価・分析等のニーズについても近年多様化しており、そのニーズに対応するため設置機器の機能アップや新規機器の設置等が望まれる状況であることから、機器の更なる充実と共に、機器の更新および新規整備も重要な課題となっています。

しかし、この機器整備においては本市の財政面から単独での機器調達や整備は難しいため、公益財団法人JKAが実施する公設工業試験研究所の設備拡充補助事業補助金の活用により平成26年度機器整備を実施しました。

(2) 実施内容

【顕微フーリエ変換赤外分光装置の導入】

当センターに設置されている顕微フーリエ変換赤外分光装置は、平成14年度の地域産業集積活性化対策施設費補助事業施設として導入されたもので、設置後11年が経過しており、古いバージョンのコンピューターで制御されています。すでに、現有機器は後継機種に移行しており、制御系のみのバージョンアップは行われていません。

したがって、コンピューターが故障すると、修理が不可能となり、さらに部品の供給も困難になっています。現在、附属の顕微赤外分光光度計が故障し、修理が不可能で使用できない状態にあり、利用者のニーズに対応できない場合が生じています。これらの問題点を解決するために更新の必要がありました。

そこで、利用者における利便性の向上と新たな利用者の拡大を目指して、貴財団の補助により、顕微フーリエ変換赤外分光装置更新導入するものです。

(別紙 5)

2 予想される事業実施効果

中小企業の製造業が集積している当市において、導入した機器によって、以下のよう
な観察や評価を行うことが可能となり、技術力強化や製品の高度化が図れ、機器利
用の拡大も期待できます。

- ① ゴム、紙、プラスチック、繊維、布、接着剤、食品、化粧品、医薬品などの成分分析
が行えます。
- ② 上記試料に含まれる各種添加物などの分析が可能です。
- ③ 微小な試料の赤外スペクトルが測定できます。
- ④ 製品中に含まれている微小異物の分析が可能です。
- ⑤ 表面や化学吸着物の特定や解析研究に利用できます。
- ⑥ 測定されたスペクトルは、豊富な物質データベースにより解析され、定性できます。
- ⑦ 材料の劣化の進行状況をスペクトルの変化で確認することができます。

3 本事業により導入した設備

<顕微フーリエ変換赤外分光装置> (<http://techsupport.jp/104.php#ftir>)



設置場所：【東大阪市立産業技術支援センター】

物質に赤外線を照射すると、ある波長の光が選択的に吸収を受けます。この赤外吸
収スペクトルは、その物質固有のもので、ユニバーサル A T R ならびに、付属の顕
微赤外分光光度計は、通常 F T - I R では測定不可能な微小 ($10\mu \times 10\mu$) 試料の赤
外スペクトルを測定できます。測定されたスペクトルは、データベースにより解析さ
れます。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 東大阪市立産業技術支援センター

(ひがしおおさかしりつさんぎょうぎじゅつしえんせんたー)

住 所 : 〒577-0065

東大阪市高井田中1-5-3

代 表 者 : 所長 水谷 潔 (みずたに きよし)

担当部署 : 技術相談員 (ぎじゅつそうだんいん)

担当者名 : 顕微フーリエ変換赤外分光装置 山元 和彦 (やまもと かずひこ)

電話番号 : 06-6785-3325

F A X : 06-6785-3363

E-mail : sangi@techsupport.jp

U R L : <http://techsupport.jp/indexpc.php>